

2016年1月27日発行(15-3号)

一般社団法人日本社会福祉学会

中国・四国地域ブロック会報

発行者: 中国・四国地域ブロック担当理事: 横山正博(山口県立大学)
広報担当: 片岡信之(四国学院大学)
木村敦子(広島文教女子大学)
高杉公人(聖カタリナ大学)

事務局: ノートルダム清心女子大学人間生活学部 杉山博昭
岡山市北区伊福町 2-16-9

ホームページ: <http://www.socialwork-jp.com/csssw/index.html>

I. 新年のごあいさつ

II. 第47回地域ブロック大会(愛媛大会)報告

III. 中国・四国地域ブロック共同研究会のご案内

IV. 第48回地域ブロック大会(山口大会)のご案内

I. 新年のごあいさつ

中国・四国地域ブロック担当理事 横山正博 (山口県立大学)

明けましておめでとうございます。本年も、中国・四国地域ブロックの運営につきまして引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

さて、本年は理事が改選され、5月の総会で新しい理事が正式に承認されることとなります。また、代議員についても再選を含む改選となります。

5月以降の中国・四国地域ブロックの具体的な運営については、新しい理事のもとで実施されることとなりますが、地域ブロック大会の開催、機関誌(「中国・四国社会福祉研究」)の刊行、中国・四国地域ブロック会報の刊行は堅持しつつ、着実な歩みをしていきたいと思っております。

一方、新たに今年度より会員連携の共同研究を本格化させたところです。中国・四国地方の特定の社会福祉課題の解決を目指した共同研究を進めて参りたいと思います。昨年、会員に対して、中国・四国地方の特定課題について研究に取り組まれている方をアンケート方式でお伺いしましたところ、6名の会員から手が上がりました。まずは、今まさに取り組んでおられる会員の研究成果を集結し、中国・四国地域ブロックとして取り組める課題を整理する作業を行っているところです。来る3月18日(金)に、第1回目の共同研究会を開催しますので、ぜひともご関心のある方はご参集ください。また、従来から取り組んできました若手研究者の育成については、本共同研究の中に組み入れたいと思っております。

なお、来年度中国・四国地域ブロックで全国フォーラムを引き受ける予定です。具体的な内容はこれから検討していきませんが、運営についてもぜひとも会員のみなさまのご協力を賜りたいと思います。

Ⅱ. 第 47 回地域ブロック大会(愛媛大会)報告

平成 27 年 7 月 4 日(土)に、「日本社会福祉学会中国・四国地域ブロック 第 27 回愛媛大会」が松山市北条にある聖カタリナ大学で実施された。大会テーマは、「社会福祉法人による地域貢献のあり方を問う」で、社会福祉法人の公益性について社会から厳しい目を向けられる中、社会福祉法の改正にまで及んだ問題を、学会としてどのように捉え方向を見出すのかを考えることを目的に開催された。大会テーマとして社会福祉業界のホットトピックを取り上げたことで地元の社会福祉法人関係者から 24 名の参加者があり、会員 43 名、学生・院生 51 名を含めた 118 名が熱い議論を繰り広げた。

午前の部では、特定課題セッションと自由研究発表が行われた。特定課題セッションでは「中国・四国地方の中山間地における社会福祉研究」をテーマとして掲げ、過疎化や少子高齢化が急激に進んでいる中山間地域及び島嶼部が多い中国・四国地方において、都市型モデルの社会福祉から一線を画した新しい社会福祉のあり方について研究発表・ディスカッションが行われた。自由研究発表では、第 1 分科会では、障害者や精神障害者を中心にした研究発表が行われ、第 2 分科会では保育所での虐待対応、介護現場で発生している問題等に関する発表が行われ、参加者との意見交換が行われた。

午後の部では、社会福祉法人常磐会の理事長で、厚生労働省も太いパイプを持って社会福祉法人改革に自ら取り組んでおられる久木元 司氏による基調講演「社会福祉法人による地域貢献のあり方を問う」が行われた。久木元氏は、社会福祉法人改革の議論が起こった社会的・政治的背景、そして社会福祉法人制度の見直しの内容、そして今後の社会福祉法人はどうあるべきかについて、分かりやすくご解説下さった。

基調講演の後、シンポジウム「社会福祉法人の地域貢献を促進させる方法を考える～社会福祉法人のあるべき姿と現実との対比から～」を開催し、3 名のシンポジストにご登壇頂いた。まず最初に、厚生労働省の「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」の委員で社会福祉法人堺暁福社会理事の宮田 裕司氏から、社会福祉法人の立場から社会福祉法人改革をどう捉え、今後の社会福祉法人が自主的に地域貢献に取り組む方法についてお話し頂いた。その後、香川県社会福祉協議会事務局次長の日下 直和氏より、香川県社協が展開する社会福祉法人施設と社協とが連携して生活困窮者支援を行う仕組み「香川思いやりネットワーク事業」についてご紹介頂いた。そして最後に、社会福祉法人紅梅会デイサービスセンター梅本の里・小梅の所長 野中 康志氏から、施設が独自に行う地域貢献の取り組み事例をご説明頂いた。そして最後にコーディネーターからご登壇頂いたシンポジストの方々に対して、「社会福祉法人が行うべき地域貢献の範囲」や「社会福祉法人に生活困窮者支援の仕組みに参加してもらう方法」「社会福祉法人が地域と上手く連携出来る秘訣」についてそれぞれ質問があり、意見交換が行われた後に大会は閉幕となった。



熱気あふれるシンポジウム会場

社会福祉法人による地域貢献のあり方を模索することは、人材不足に悩む中国・四国地域の社会福祉を促進させる数少ないプラス要因と成り得ることを改めて今大会で確認することが出来た。

今後の日本社会福祉学会 中国・四国ブロックとしても今大会での学びを活かして、合同研究等の取り組みを行う所存である。

(聖カタリナ大学 准教授 高杉 公人)

Ⅲ. 中国・四国地域ブロック共同研究会のご案内

1. 趣 旨 中国・四国地方の社会福祉の課題解決に資する研究活動に取り組むための第1回目の研究会を開催します。
2. 日 時 2016年3月18日(金) 10:00~12:00
3. 場 所 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館(きらめきプラザ) 702 会議室(岡山市北区南方2丁目13-1)
4. 内 容 趣旨にご賛同いただける会員は、現在取り組んでいる研究をお一人10分程度でご発表、討論いただき、共同研究のテーマの絞りこみ作業を行いたいと思います。事前に配布資料等のある方は、下記メールまでご連絡ください。また各自ご用意いただいても構いません。共同研究の成果は、中国・四国地域ブロックから、学術書の刊行を予定しています。普段の研究成果を公表する機会ともなりますので、ぜひともご参加ください。
5. 申込不要
6. 大学院生の方は、交通費の一部を補助いたしますので、事前に下記にご連絡ください(なお、領収証を必ず当日持参ください)
7. 連絡・問合せ先 中国・四国担当理事 横山正博(山口県立大学)
yokoyama@yamaguchi-pu.ac.jp

Ⅳ. 第48回地域ブロック大会(山口大会)のご案内

1. 日 時 2016年7月2日(土) 9:00~16:00
2. 場 所 宇部市文化会館(宇部市朝日町8-1)
3. 引受校 宇部フロンティア大学
4. テーマ 不登校とスクールソーシャルワーカー(仮)

開催要項等の詳細は、3月下旬から4月上旬の間に本会報およびメール便でご案内いたします。